



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2021年3月20日 発行 第41号

ワシントン日本語学校
校長 森 宏 介

[ワシントン日本語学校事務局]
HOT LINE (301)962-7415
TEL (301)962-7410
FAX (301)962-7411



卒業・修了おめでとう

卒業生の皆さん、長い人は、幼稚部から12年間、本校に通い続け、今日の日を迎えました。現地校と日本語学校、そしてそれぞれの学校の宿題や課外活動で努力と苦勞の連続であったことと思います。これまでの皆さんのがんばりに、まずは大きな拍手を贈ります。

引き続き本校で学ぶ人、今日の日を一区切りとして、新たな挑戦を開始する人と様々ですが、これまで頑張ってきたことを糧に大きく前に進んでいってください。

新型コロナウイルスの蔓延で、本年度の授業は全てオンラインで行うことになりました。本校の誰もが楽しみにしていた運動会や特別授業も実施できませんでした。極めて残念であると思います。一方、新たな可能性も見えてきました。高等部が力を合わせて取り組んだSDGs Projectでは、インターネットで数千キロも離れた他の補習授業校の生徒とつながるとともに、意見を交換しながら地球的問題群の解決方法を模索するという先進的な学びを経験しました。また、中学部の皆さんはオンライン授業の中で、プロジェクト学習を実施。生徒会活動も形を変え、仲間意識を醸成するための企画や読み聞かせ等、オンラインならではの工夫に富んだ活動を展開しました。

私は、これらのことから、本年は、コロナウイルスに苦しみながらも、力を合わせてそれに打ち勝った1年であると断言したいと思います。

早晚、対面授業も再開されます。来年度は、対面で実施する学びや行事を思う存分楽しみながら新たな歴史を築いていきましょう。

校長 森 宏 介

教頭 佐藤 晋一

退任にあたって

平成31年4月5日、私は佐藤教頭先生と共にワシントンの地を踏みしました。海外勤務3回目とは言え見ず知らずの地に赴任するわけですから不安がなかったと言えは嘘になります。

赴任直後は、目が回る忙しさでした。初出勤は到着日の午後。事務局で本校の性格や運営方針に関するレクチャーを受けました。翌6日は、休養日を返上して聖心SR校を訪問。教室配置等を確認するとともに、関係者に挨拶して回ったことを思い出します。7日は、最初の授業日でした。朝7時に聖心SR校に入り準備しなければなりません。最初の仕事は職員室に荷物を搬入することです。次に待っていたのはカフェ4から机と椅子を各教室に運ぶ仕事でした。初めての事でもあり、1時間たっても終わらなかったことを懐かしく思い出します。翌週の土曜日は「ワシントン桜祭り」に参加。その翌日は入学式と目まぐるしい日々が流れました。時差ボケを感じる余裕もありません。

それからもう2年が過ぎようとしています。2年目はコロナ禍で授業の全てがオンラインに。卒業式も実施できませんでした。残念な事ですが、コロナのおかげで得たものも少なくありません。オンライン授業の可能性や共働学習のよさを実感できたことはなによりの成果です。

帰国後は、地元に戻り新採用教員の指導役にあたります。皆様には大変お世話になりました。ここでの経験を生かし、新たな道を力強く歩んでいきたいと思っています。

校長 森 宏 介